



# まねん

KKR 広島記念病院広報誌

第 20 号

発行所 〒730-0802  
広島市中区本川町1-4-3  
国家公務員共済組合連合会  
広島記念病院  
☎(082)292-1271

<http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

## 「知事との昼食懇談会」に参加して

広島記念病院 助産師 永嶋 裕美子

この度、9月8日に広島県知事と県内の看護の第一線で活躍している看護職と意見交換を行う「知事との昼食懇談会」に参加しました。湯崎知事は「看護職の現場の声が知りたい」と言われ、広島県内の看護師6名と昼食を摂りながら、看護師の復職支援体制の強化や子育て支援など、医療現場の現状や今後の抱負について率直に意見を交し合いました。当院は、平成21年に広島県助産師外来支援モデル事業費補助金の交付を受け、平成22年1月に助産師外来、平成22年7月に院内助産「ほのぼの」を開設しました。現在までに、助産師外来利用者は36名、院内助産利用者は11名（現在出産予定者は5名）となっています。私は、「院内助産や助産師外来の推進」をテーマに語らせて頂き、妊産婦にとって妊娠・出産・育児を経験していく過程で助産師を必要としている現状や助産師の人材確保には助産師外来・院内助産のように助産師が本来の業務を遂行し、専門性を最大限に発揮できるシステムの必要性を伝えました。知事からは、「助産師の活躍の場が広がるといいですね」と声をかけて頂き、とても有意義なひと時を過ごすことができました。現場に起こっている問題や課題を、ゆっくりと流れる時間の中で語りことができ、「知事との昼食懇談会」に参加でき、とても満足することができました。

近年、周産期を取り巻く環境は大きく変化し、若年出産や高齢出産、未婚といった様々な社会背景を持った妊産婦が増加しニーズも多様化してきています。妊産婦を対象にした、当院でのアンケート調査結果では、「もっと助産師と妊娠中から話がしたい」「満足のお産がしたい」など意見が多くありました。助産師外来・院内助産は、助産師本来の助産師業務を遂行でき、助産師



のやりがい及び医師の負担軽減につながっています。また、妊産婦の個々のニーズに対応した支援により、サービスの向上といった成果がみられ、正常な妊娠・分娩経過といった本来の当院の役割の達成にもつながっています。妊産婦からは「話をゆっくり聞い

てもらえて安心できた」「こんなにすばらしいお産ができてよかった」などのお言葉を頂いており、平成 22 年度の助産師外来・院内助産を利用した妊産婦の満足度は、ともに「全員が満足」という結果となり、スタッフ一同とても嬉しく思っています。当院の助産師外来・院内助産を、一人でも多くの妊産婦が利用し、満足な出産体験となり、自信をもって育児に望むことができるよう、これからも取り組んでいきたいと強く決意しました。

## 地域医療連携システム KKR ころネット広島

当院では平成 23 年 3 月より地域医療連携システム“KKR ころネット広島”の運用を開始しました。

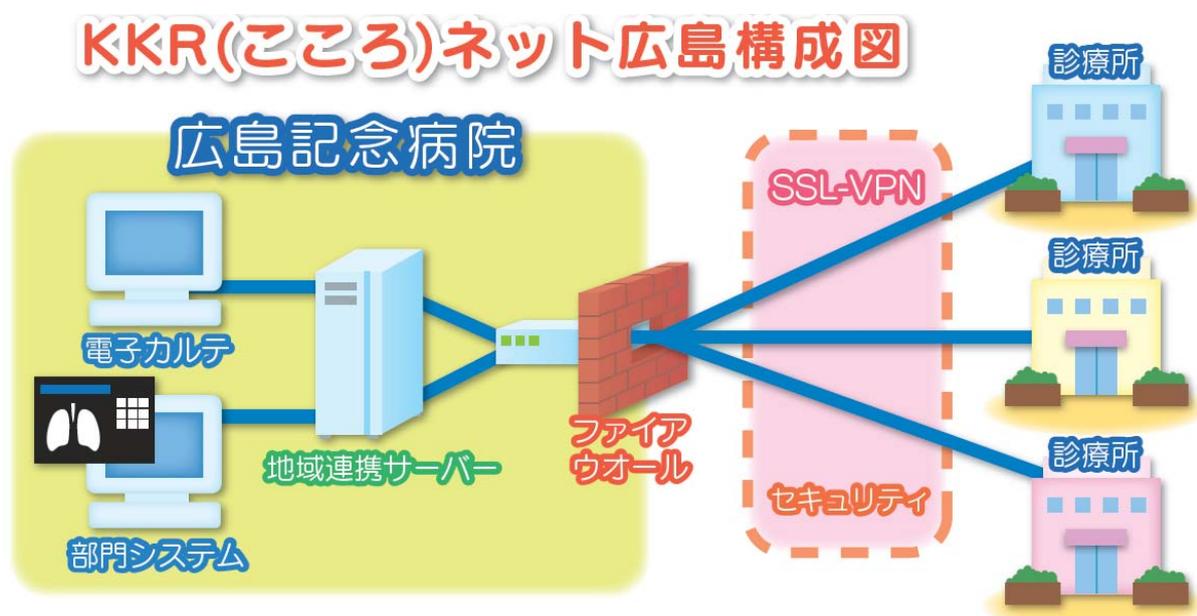
“KKR ころネット広島”は地域の医療機関と当院を高いセキュリティーを確保したネットワークで結び、承諾をいただいた患者様の診療データを参照可能とする地域医療連携システムです。

患者様へより良い医療を提供、また、連携医療機関とのスムーズな医療連携を行うことを目的に導入しました。

現在 19 医療機関と接続し約 260 名の患者様を登録しております。※1

主に画像、所見、検査結果などの参照が行われております。

※1 平成 23 年 10 月 1 日現在



# 看護の日

広島記念病院 看護部 森下妙子

5月12日はナイチンゲール誕生の日ということで看護の日とよばれています。今年も5月12日に看護の日のイベントを広島記念病院の1階フロアにて行いました。

1階フロアの特設会場では、メタボリックシンドロームの健診(身長・体重・血圧・骨密度・体脂肪の測定、栄養・健康相談)や乳がんモデルを使用した自己検診指導を行い、今年度も面会に来られた方や、近隣の方々をはじめ、約50名の参加がありました。

普段なかなか測定することができない骨密度や体脂肪を測定された方の中には「一度測ってもらいたかった。」と大変喜んでいただき、その後管理栄養士による栄養相談や看護師による健康相談を受けられていました。

また、今年度から乳がんモデルを用いた自己検診指導を始めました。乳がんは日頃からご自分の胸に触れ、異変に気付くことが早期発見につながるといわれています。今回、乳がんモデルに実際に触れられた女性の方からは「日頃から気を付けてみるようにしたい」などの声が聴かれました。

来年度も、地域の方々や来院された方々の健康増進のため生活習慣病予防の意識向上に貢献していきたいと思っております。

**看護の日**

生活習慣病の目安になる検査値をチェックしていませんか?

実施日: 平成23年5月12日(木)  
時間: 13:30~15:30  
場所: 広島記念病院1階フロア

広島記念病院では、5月12日の「看護の日」ナイチンゲール生誕日に皆様の健康の保持増進のお手伝いができればと企画いたしました。

【内容】  
★健康チェック(身長・体重・視力・体脂肪率・血圧・骨密度)  
★健康相談  
★栄養相談  
★社会福祉士相談  
★乳がんの自己検診指導

主催: 広島記念病院 看護部



# 地域医療従事者研修会 報告

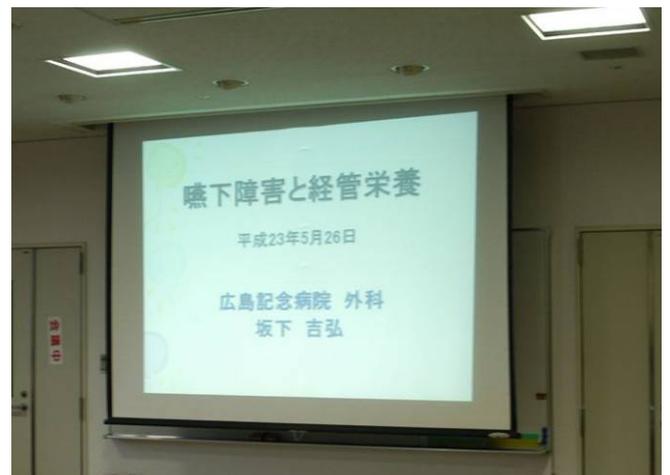
地域医療連携支援室 山田実千代

## 「嚥下障害と経管栄養」

日 時：H23年5月26日（木）18：30～19：30

講師：坂下吉弘医師

地域医療従事者研修会としての「NST研修会」も今回で3年目を迎えました。毎回人気の研修会ですが、今年は26施設、65名の参加がありました。申し込みの時点では、79名の応募があり、院内職員の参加がままならなくなったため、院内は同内容の研修会を再度開催することになりました。参加職種も今回は医師・看護師・栄養士・言語療法士・理学療法士・歯科衛生士・介護福祉士・事務とほとんどの医療従事者の参加があり、関心の高さが伺える研修会となりました。対象に合わせ、講義内容も口腔の解剖生理にはじまり嚥下障害のメカニズム、その訓練の仕方、嚥下食の種類と選択方法など大変具体的でわかりやすいものでした。また、当院のNSTが頑張ってきた軌跡がよくわかり、広く院外のみなさまにも当院での実践的なニュートリションサポートの様子を理解していただけたのではないのでしょうか。



## 「5Sの推進で安全・快適な病院作りをしよう」

日 時：H23年6月30日（木）18：30～19：30

担 当：医療安全対策委員会

今年の医療安全研修会も3回目を迎えました。今年は18施設、47名の多数の参加がありました。500床を越える病院からの参加が多かったのが今回の特徴でした。よって、院内からは委員会メンバーのみの参加となりました。参加職種はほとんどが看護師で占められ、関心の高さが伺われました。5Sのミニレクチャーの後、昨年度の当院での取り組みを各部署から発表してもらいました。その後グループワークを行い、発表するという流れで会が進められました。壁には各部署で取り組んだビフォーアフターの

模造紙が貼られ、参加者たちは研修の合間に熱心に見入っている姿が印象的でした。



## 「悪性リンパ腫の診断と治療」

日 時：H23年7月15日（木）18：30～19：30

講 師：麻奥 英毅 先生（広島赤十字・原爆病院）

第13回のがん疾患関連セミナーは悪性リンパ腫の治療で高名な麻奥 英毅 先生にお願いしました。先生のところへは年間約2000名の悪性リンパ腫の患者さんが訪れ、全国2位の症例数を誇っています。党员からも今までに86名の患者さんをお願いしてきました。参加者は院外3名、院内25名と少人数となりましたが、活気にあふれる質疑応答となりました。



## 「病院と地域をつなぐ在宅緩和ケアの取り組み—事例を通じて—」

日 時：H23年8月25日（木）18：30～19：30

講 師：松浦 将浩 先生（安芸市民病院緩和ケア病棟）

今回の緩和ケア研修会では、緩和ケア病棟と在宅緩和を行き来しながら在宅で看取られた事例と病棟で看取られた事例を紹介していただきました。段階に応じて、患者の不安・苦痛を取り除くためのケアや必要な在宅支援の導入などの経過を説明していただく

なかで、緩和ケア病棟とは穏やかな最後を迎える場所という役割だけではなく、必要時に的確に症状緩和を行い、在宅療養を支える存在であると再認識しました。

また、先生のお話の端々から患者様・家族・医療スタッフの気持ちに寄り添う姿がうかがえ、大変感銘を受けました。

今回は、院内・院外合わせて88名と参加者が大変多く、関心の高さが伺えました。近隣の医療機関から、緩和ケアチームでご参加いただいていたようです。

参加者それぞれが、明日からの患者様との関わりに生かせるヒントを得られたのではないのでしょうか。



## 七夕

広島記念病院 企画委員会

七夕の季節となり、当院では毎年恒例の笹を各フロアに設置しました。

笹には、沢山の七夕飾りを作ってください、素敵な笹に仕上がりました。

笹には、小さな子供さんの願い事や「早く元気になりますように。」などご自身の願いだけでなく、「皆さんが幸せになりますように。被災地の皆さんが一日も早く元の生活に戻れますように」と人を思いやる願いがありました。今年も震災もあり、お互いが協力して明るい未来を作っていく必要があると思います。今回の七夕で、改めて人を思いやる気持ちの大切さを感じました。私も、皆さんの願いが叶いますよう祈っています。

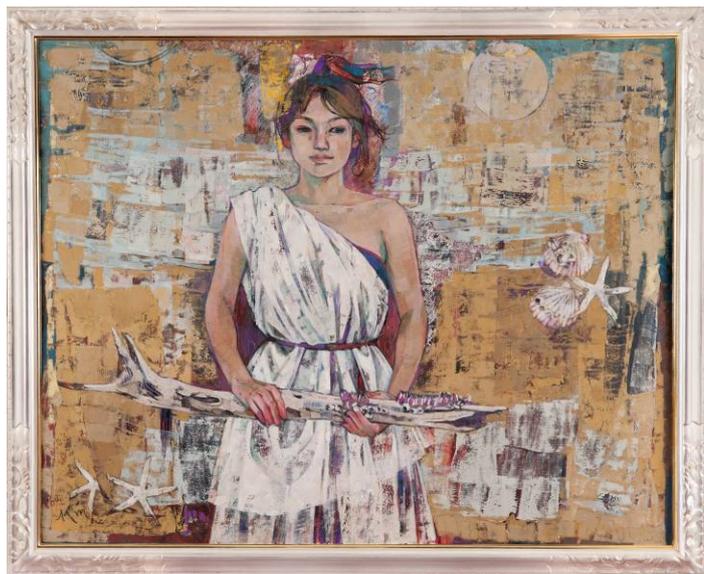


## 絵画の寄贈について

広島記念病院1階 薬局前に兵庫県在住、日展会友・東光会審査員の小林欣子様より寄贈されました絵画が5月より飾られております。

ご来院の際には、ぜひお立ち寄りください。

### 光る風



### 砂の記憶



小林 欣子（こばやし きんこ）

広島生まれ

広島市立基町高等学校卒業

広島大学教育学部美術学科卒業

1966年 第32回東光展初出品 奨励賞

1996年 第62回東光展 会員賞

1997年 第63回東光展 安田火災美術財団奨励賞

2002年 アートミュージアムギンザにて大作個展

2003年 神戸大丸 企画個展

2011年 兵庫県立三木山森林公園内 森の風美術館 同館オープン記念企画 大作個展

日展入選多数

個展・企画個展多数

現在：日展会友、東光会審査員

アトリエ「風」主宰

## 広島記念病院の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」について

病院のこころ、職員の姿勢を伝えることを意とし、平成10年6月病院建替え完成と同時に、下記の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」を制定いたしました。患者の皆様やその関係者の方々等広くお知らせするため、病院玄関より各階すべてに掲示しております。日々の仕事のなかで実現できるよう努力しております。

### 理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

### 憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

### 患者様の権利の尊重

- ◆ 患者様の人間としての尊厳を尊重し秘密を守ります。
- ◆ インフォームドコンセント（良く納得された上での合意）を基盤とし、信頼関係を確立します。
- ◆ 各科の有機的な連携を図り、高次で専門的な総合医療を行います。
- ◆ 癒しの心を持った、接遇、ケアを行います。
- ◆ 癒しの心を持った、入院環境、アメニティーの整備を心がけます。

### 地域医療連携室

TEL 082 (503) 1003

FAX 082 (503) 1010

### 代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

### 庶務課

TEL 082 (503) 1001

### 内科・外科

FAX 082 (503) 0722

### 産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

### 耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

### 4病棟

FAX 082 (503) 1014

### 5病棟

FAX 082 (503) 1015

### 6病棟

FAX 082 (503) 1016

### 7病棟

FAX 082 (503) 1017

### 8病棟

FAX 082 (503) 1018